

令和6年度「美方郡における森林地域シカ集中捕獲実施業務委託」仕様書

1 委託業務

美方郡における造林地や町境等の捕獲空白地域でのワナによるシカ捕獲実施業務

2 目的

県内でも最もシカの SPUE(目撃効率)が高く、森林の下層植生の衰退が進行している美方郡において、造林地を再び森林に戻すためには、造林地を防護柵で守るだけでなく、捕獲によって周辺のシカ生息密度を低減させることが重要である。現在、有害捕獲や指定管理鳥獣捕獲等事業によりシカの捕獲は実施されているが、捕獲空白地である造林地や町境等において集中的に捕獲を進め、シカによる食害の低減を図る。

また、森林での捕獲体制整備を目的に地域の林業事業体の捕獲体制支援を行っており、林業事業体と連携することで、森林や造林地における捕獲対策の推進を図る。

3 業務期間

委託契約日から令和6年12月27日

4 業務事業地

兵庫県美方郡香美町及び新温泉町における造林地や町境等の森林における捕獲空白地とし、委託者が別途作成する捕獲計画書の候補地から2箇所を選定するものとする。

選定においては、現地踏査し他の捕獲者が無いことの確認と、痕跡調査を行い生息状況密度の高い箇所を選定すること。災害等により捕獲計画書の候補地で実施が困難となった場合は委託者に協議すること。

また、捕獲状況を検証し捕獲効率の高い箇所へ適宜変更するものとする。その場合は事前に委託者へ協議すること。

なお、候補地には公益社団法人ひょうご農林機構や国立研究開発森林研究・整備機構森林整備センター、町有林等の造林地が含まれるため、管理者と事前に協議し入山許可等の必要な手続きをとり、捕獲に際しては造林木に損傷を与えないこと。

5 業務内容

(1) 美方郡におけるシカ集中捕獲

ア 捕獲

委託者が別途作成する捕獲計画に基づき、低コストで効果的な餌付け誘引くくりワナの捕獲方法により、4の事業地2箇所における林道や作業道周辺でシカを集中的に捕獲する。

なお、くくりワナは受託者が購入・準備するものとする。

イ 捕獲目標

本業務では、捕獲効率0.12/ワナ日以上効率により、捕獲目標頭数は150頭とする。

ウ 捕獲期間

捕獲期間は、1ターム14日間とし、3ターム実施する。

また、各ターム実施は概ね1ヶ月間隔を空けること。

エ 餌付け

ワナ設置前の事前給餌を2回実施し食いつき状態を確認すること。

オ ワナの設置

ワナの設置は、受託者の責任において実施しなければならない。

ワナは、区別なく鳥獣を捕獲してしまうこと、捕獲される鳥獣を損傷してしまうことから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第10条第3号に従って設置しなければならない。

ワナは捕獲対象鳥獣から見えないように周囲の状況に同化させること。

標識（住所、氏名、有害鳥獣捕獲許可証の番号等法令で定める内容を記載）を設置すること。

必要に応じ、林道等の入口手前や遊歩道の入口及び一般者への周知が必要な箇所に看板等を設置し、入林者へ注意喚起を促すこと。この場合の注意喚起看板等の支柱・掲示板等は受託者で準備すること。

カ 見回り

見回りは複数名で対応することし、その実施体制（わな免許所持者6名以上）を準備すること。

ワナ設置後は、捕獲した鳥獣を速やかに発見するため、また、ワナとその周辺状況を確認するために、設計図書に基づきワナ設置期間は毎日見回りを実施しなければならない。

不具合や誤作動等が発生していないかを確認しなければならない。

不具合や誤作動等が見受けられた際は、適切にメンテナンス及び再設置を行わなければならない。

雨等でワナが露出している場合は、埋め直さなければならない。

ワナの作動に支障をきたすような落枝等があれば取り除かななければならない。

鳥獣に察知されないように、ワナ本体やワイヤー等を丁寧に隠し獣道等を自然の状態に復元しなければならない。

キ 誘引餌

誘引餌はヘイキューブを基本とし、ツキノワグマを誘引し難い餌を使用すること。なお、誘引餌は受託者が購入・準備するものとする。

見回りによる誘引餌の採食状況、足跡等の痕跡の確認等により、誘引状況の確認を行わなければならない。

誘引が不調の場合には、定期的に古い餌を取り除き、新しい餌を補給しなければならない。

餌が無くならないように常に補給を行わなければならない。

餌を給餌箇所に運搬する場合は、路面にまき散らさないようにすること。

誘引が不調の場合は、新たな誘引場所を検討すること。

ク 保定及び止め刺しについて

止め刺しについては、安全かつ動物福祉の意識をもって速やかに行うことのできる手法により実施すること。

止め刺しは、周辺環境、市街地や地域住民等への配慮、社会的影響への配慮、従

事者の熟練度等により、手法を適切に選択すること。

止め刺しは適切に保定した後に実施すること。

(2) 捕獲個体の情報のとりまとめ

捕獲した場合は、鳥獣被害防止総合対策交付金実施要領(最終改正令和6年4月1日付け 5農振第2688号 農林水産省生産局長通知)別記5シカ特別対策等事業第2の2(1)イ(イ) a(写真)及びb(部位)、または(エ)の規定によるものとし、a(写真)については、捕獲者の氏名・捕獲日・捕獲場所等を記載したプレートまたは紙と一緒に撮影すること。

捕獲個体の情報は、捕獲日、捕獲したワナ、捕獲場所、捕獲従事者、成獣・幼獣の一覧表(捕獲等状況報告)に写真と部位を添付して、各ターム終了後10日以内に提出すること。ただし、捕獲総数がターム途中で130頭を超えた場合、速やかに委託者に連絡すること。

(3) 捕獲個体の処分

捕獲個体は、集合理設とし埋設場所を決めて確実に埋設すること。

集合理設のための埋設穴設置に係る手続き及び掘削・埋め戻しについては、受託者が準備し施工すること。

なお、埋設場所は受託者で土地所有者等と交渉を行うものとし、必要に応じて委託者と協議すること。

(4) 林業事業体との連携

2目的のとおり、地域の林業事業体(北但西部森林組合)と連携して捕獲活動を実施することとし、業務着手前にその旨を林業事業体と書面でとり交わすこと。

連携内容は、計画作成における捕獲区域の森林所有者や林道・作業道の情報に関すること、入山や作業道通行(許可、届出等)に関すること、捕獲個体の埋設に関することとする。

6 安全管理について

安全管理規定に基づき常に事業の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。

受託者は、屋外で行う事業の実施に当たっては安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じておくものとする。

受託者は、屋外で行う事業の実施に当たり、事故等が発生しないよう使用人等に安全教育の徹底を図り、指導、監督に努めなければならない。

受託者は、屋外で行う事業実施中に事故等が発生した場合は、直ちに監督職員に連絡するとともに、事故報告書を速やかに監督職員に提出し、監督職員から指示がある場合にはその指示に従わなければならない。

7 委託契約後の事務等

(1) 監督職員および事業管理責任者の選任について

ア 委託者は、事業における監督職員を定め、受託者に通知するものとする。

イ 受託者は、事業における事業管理責任者を定め、事業着手までに委託者に通知する。

(2) 事業計画書

受託者は、契約締結後 14 日（休日等を含む。）以内に事業計画書を作成し、監督職員に提出すること。事業計画書の内容を変更する場合には、変更事業計画書を提出すること。

受託者は、事業計画書に次の事項について記載すること。

ア 事業概要

イ 工程表

ウ 組織票

事業管理責任者その他従事者等の有資格者表」を作成する。また、再委託がある場合は、各協力者における事業実施の分担関係を体系的に示すものとする。）

エ 実施方法

実施期間、場所、見回り・誘引期間、捕獲方法、埋設予定箇所を記載すること。

オ 安全管理規程（連絡体制図、安全指導体制等）

カ 緊急時の体制及び対応方法

キ その他

(3) 許可の申請書類の作成等

鳥獣の捕獲等に係る許可申請及びその他法令により必要な許可申請については、委託者と受託者が協議して申請手続きを行うものとする。

ア 捕獲許可証について

受託者は契約後すみやかに鳥獣捕獲許可等事務処理要領（最終改正令和 5 年 4 月 13 日自第 1019 号兵庫県環境部自然鳥獣共生課長）に基づき、個体数管理を目的とし、本事業で捕獲者となる者を従事者とする捕獲許可申請書を委託者に提出するものとする。

委託者はすみやかに捕獲許可証及び従事者証を交付するものとする。

(4) 打合せ協議

受託者は、業務遂行にあたり、適宜、監督職員と打合せを行うこととする。

地元関係者との調整は、委託者が実施することとし、受託者は、これら調整結果に基づいて行動し、トラブルを回避する最大限の努力を払うこと。

8 損害賠償保険等加入

(1) 他人に与えた損害（他損事故）に対する賠償

ア 受託者は、他人の生命又は身体を害したことによって生じた法律上の損害賠償責任を負うことによって被る損害に係る損害賠償契約に加入しなければならない。

イ 損害保険の契約内容

事業の一環として実施する鳥獣の捕獲等に起因する事故のために、他人の生命又は身体を害したことによって生じた法律上の損害賠償責任を負うことによって被る損害に係るものであること。

ウ 事業管理責任者及び捕獲従事者は、本事業の実施による鳥獣の捕獲等に起因する事故のために、他人の生命、身体又は財産を害したことによって生じた法律上の損害賠償責任を負うことによって被る損害に係る損害賠償保険契約の被保険者であること。

エ 保険金額

銃による止め刺しを行う場合の他損限度額は、1 億円以上

ワナによる捕獲の場合の他損限度額は、3 千万円以上

9 業務完了について

業務が完了したときは、速やかに委託業務完了通知書に 10 成果品を添付して提出し、検査を受けること。

10 成果品

- (1) ワナごと設置日数及び捕獲状況
 - ア 捕獲実施位置図(位置図 2 万 5 千分の 1 程度)
 - イ ワナごと管理状況(ワナごとに設置状況〔設置位置、設置状況、設置日数、捕獲状況、従事者〕をまとめた一覧表)
- (2) 捕獲状況報告書
 - ア 各ターム終了時に提出する捕獲状況報告書及び捕獲確認写真
- (3) 実施状況写真
 - ア ワナ設置状況
各ターム、実施箇所ごとにワナ 2 個以上について、設置～撤去〔整地〕の実施状況で、実施日がわかるもの。
 - イ 見回り状況写真
捕獲 2 例程以上について、捕獲状況(ワナにかかった状態)、保定、止め刺し、運搬、埋設までの一連の実施状況がわかる写真。
 - ウ 集合理設設置状況写真
集合理設 1 箇所について、埋設穴の掘削状況、掘削完了、埋設状況、埋め戻し完了状況の写真
- (4) 提出部数 1 部及び電子データ (PDF ファイル)

11 その他

- ア 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の他、関係法令を遵守すること。
- イ 捕獲実施にあたって、施設管理者、地元集落、関係機関との調整を十分に実施すること。
- ウ 業務において、ツキノワグマ錯誤捕獲が発生した場合は、県の負担により県が放獣作業を行うため、速やかに受託者へ報告し、必要な協力を行うこと。

12 特記事項

- (1) 受託者は委託契約に基づき、常に担当課と密接な連絡をとり、その指示に的確に対応できる体制をとること。
- (2) 受託者は業務の一部を再委託する場合は、事前に委託者と協議し、同意を得ること。
- (3) 本仕様書に記載のない事項及び仕様書の内容等に疑義が生じた場合は、事前に委託者と協議のうえ、決定すること。